

# IFRA-IOFI サステナビリティ憲章

責任感、持続可能性への取り組み

## より持続可能なビジネスと、より持続可能な地球への貢献

### 新たな責務

持続可能なビジネス活動を目指す事は、長期的な経済においても意義があるという事がますます明らかになっています。

限りある資源の使用を減らす、再生可能な資源を慎重に管理する、責任ある雇用慣行、最先端の安全性基準の推進、ステークホルダー、顧客、消費者との関係構築にせよ、持続可能な取り組みがビジネスバリューチェーン全ての側面において役に立ちます。

このような背景から、国連の持続可能な開発目標（SDGs: United Nations Sustainable Development Goals）を確固たる参照とし、フレーバー/フレグランス業界はこのサステナビリティ（持続可能性）に向けた取り組みを開始します。

### 取り組みの進め方に関する枠組み

この自主的な取り組みを通じて、フレーバー/フレグランス業界は、助言を提供し、ベストプラクティスを共有し、改善結果を

測定することにより、サステナビリティ（持続可能性）の分野における強化を、以下の通り促進することに努めます。:

- セクター（バリューチェーンにおける各部門）内でのサステナビリティ（持続可能性）への認識を高める。
- 継続的なパフォーマンス向上を手助けするためのツールボックスを企業に提供する。
- 業界レベルで進捗状況を報告する。
- フレーバー/フレグランス業界とステークホルダー間の信頼関係構築を継続する。
- 共通の課題に協働して取り組む機会を特定する。

IOFIとIFRAは、フレーバー/フレグランス業界を代表するグローバルな組織として、持続可能な調達から環境フットプリント

ント、従業員の福祉、製品の安全性に至るまでライフサイクル全体を網羅する枠組みを設定し、サステナビリティ（持続可能性）の分野において、（企業が取り組む項目を）特定し、進捗を評価し、報告するためのプラットフォームを提供します。

### **柔軟性があり、オープンな責任ある取組み**

フレーバー/フレグランス業界は多様であるため、全てに当てはまる汎用的な取組みはあり得ません。この取組みは、オープンで包括的であることを目指しています。

この精神に則り、企業は企業活動の内容に応じて助言を検討し、会社の規模や事業活動の範囲に基づく妥当性の検証や認証を含めた報告方法を適応させることができます。

この取組みの目的は、幅広い支持と参加を促すもので、我々のサステナビリティへ（持続可能性）のコミットメントの一環である5つの主要分野の中で継続的な改善を推進することです。

しかしこの取組みは又、フレーバー/フレグランスのバリューチェーン内において、そして我々の業界外のステークホルダーとの関わり合いにおいても参画と対話が求められます。我々は、外部のステークホルダーからの助言を求めて耳を傾け、我々に対する社会の期待を理解し、我々の取組みの継続的な見直しの一環として受け取ったフィードバックを活用するよう力を注ぎます。

# サステナビリティ（持続可能性）への我々のコミットメント

フレーバー/フレグランス業界は、以下を目指します。：

## 1. バリューチェーン全体において責任ある調達を確実にします。

- 1.1 我々は、**公正かつ長期的なパートナーシップ**をもって農家や地域社会の経済的繁栄を支援します。
- 1.2 我々は、人権を尊重し、国際労働基準に従い**労働慣行**を促進します。
- 1.3 我々は、**生態系の保護**と再生に努め、**持続可能な利用**を促進します。

## 2. 我々業界の環境フットプリントを減らし、気候変動へ対応します。

- 2.1 我々の製品ポートフォリオ（天然と合成）の環境フットプリントを減らすよう努力を継続します。
- 2.2 水やエネルギーなどの資源を効率的に管理し、温室効果ガスの排出量を削減し、循環型経済の原則を組み込むことを支援するための措置を講じます。
- 2.3 我々は、グリーンケミストリーの原則から着想（アイデア）を得ます。

## 3. 従業員の福利向上と働きがいのある労働環境を実現します。

- 3.1 我々は、従業員の健康と職場の安全を最優先します。
- 3.2 我々は、すべての従業員の平等な機会と公正な処遇を確保し、多様な人材の受け入れを促進します。
- 3.3 我々は、トレーニングや能力開発を通じて、専門的スキルを向上させる機会を提供します。

## 4. 製品の安全性に関して先端的な担い手となります。

- 4.1 我々は、安全性評価のあらゆる段階に原料（情報）を提出し、厳格なリスク管理措置に従います。
- 4.2 我々は、消費者と環境に対して安全な製品を、顧客と共に設計します。
- 4.3 我々は、規制当局や川下の顧客からの要求に従い、場合によりそれを上回るレベルで最適な安全性を確保します。
- 4.4 我々は、情報を提供し、我々の（使用）原料の安全性に対する信頼を強化することにより、プロダクト・スチュワードシップ（化学物質の総合安全管理）に取り組みます。

## 5. 透明性を確保し、社会にとって信頼できるパートナーになります。

- 5.1 我々は、知的財産を保護しつつ、規制機関、業界パートナー、そして川下の顧客に対して、技術、科学、コミュニケーションに関するサポートを提供します。
- 5.2 我々は、企業活動における反競争的行為、贈収賄および腐敗行為を容認しません。そして我々の会員自身がIFRA-IOFI独占禁止法コンプライアンスポリシーの遵守を徹底します。
- 5.3 我々は、我々の取り組みについて、国際的な報告基準と国連の持続可能な開発目標に準拠して報告します。
- 5.4 我々は、他の事業者、NGOや政府等、バリューチェーン全体を通じてステークホルダーとの対話と連携を強化し共通の関心分野に対応します。